

農業における女性の活躍推進について

農林水産省

経営局 就農・女性課 女性活躍推進室

令和 8 年 6 月

女性農業者の状況

- 女性は基幹的農業従事者の約4割を占める重要な担い手だが、近年、その割合が低下傾向。

基幹的農業従事者数に占める女性割合(令和7年)

	合計	39歳以下	40～49歳以下	50～59歳以下	60～69歳以下	70歳以上
女性割合	36.4%	25.6%	31.7%	38.5%	40.9%	35.8%

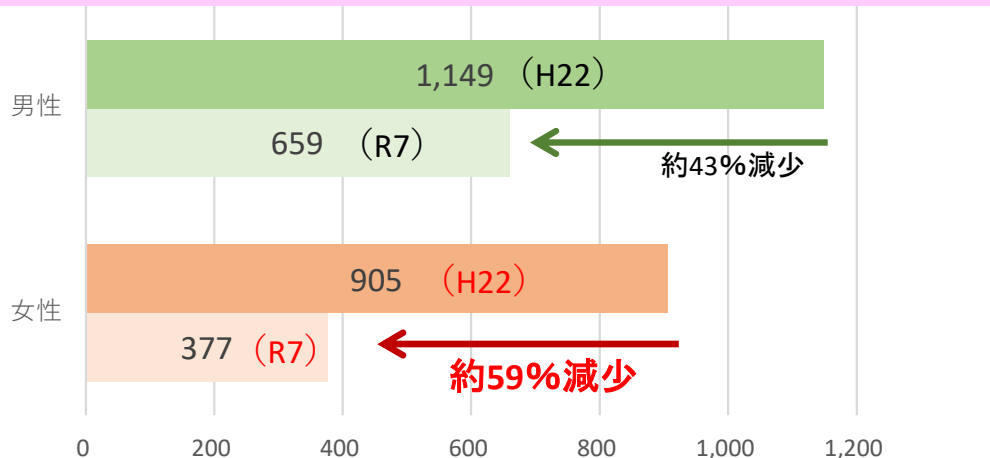


資料: 農林水産省「2025年農林業センサス」(調査期日: 令和7年2月1日)

基幹的農業従事者とは15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

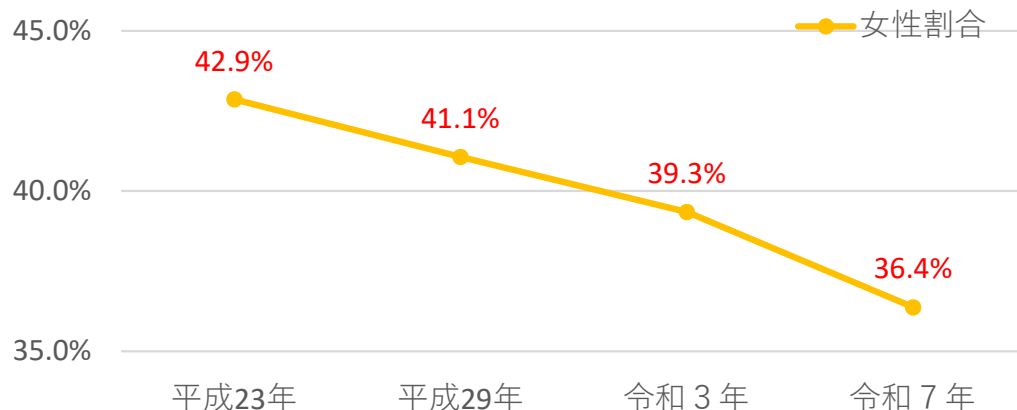
注: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

女性の基幹的農業従事者数の推移



資料: 農林水産省「2025年農林業センサス」、「2010年世界農林業センサス」(組替集計)

基幹的農業従事者に占める女性の割合の推移

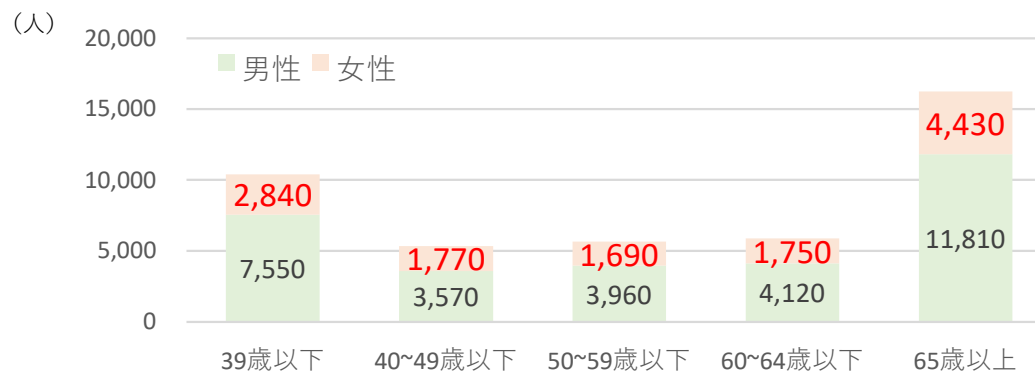


資料: 農林水産省「2025年農林業センサス」「令和3年農業構造動態調査」、

「平成29年農業構造動態調査」「平成23年農業構造動態調査」

新規就農者数に占める女性の割合(令和6年)

	39歳以下	40～49歳以下	50～59歳以下	60～64歳以下	65歳以上	合計
女性割合	27.3%	33.1%	29.9%	29.8%	27.3%	28.7%



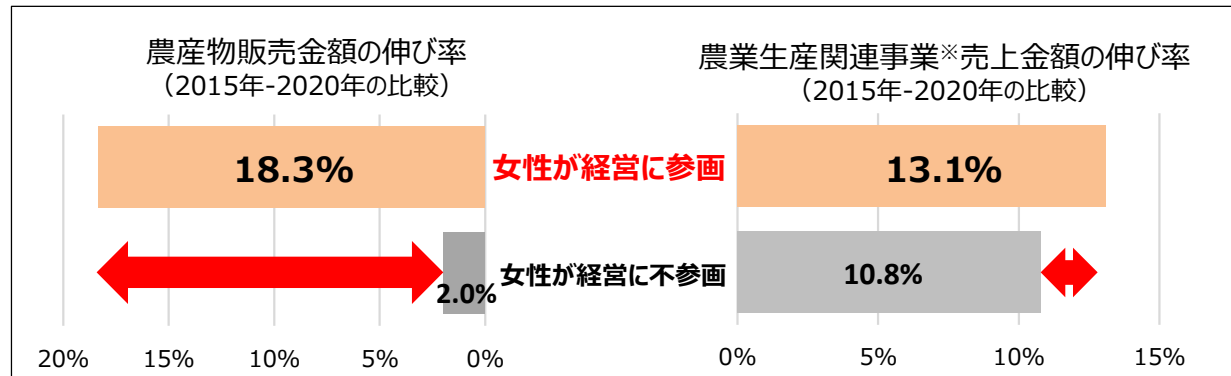
資料: 農林水産省「令和6年新規就農者調査」

注: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

女性の経営参画と経営状況の関係

- 女性が経営に関与している場合には農産物販売金額等の伸び率が大きく、今後の農業の発展、地域経済の活性化のためには、多彩な能力を持つ女性農業者が力を発揮していけるようにすることが必要。
- 他方、個人経営体では女性の経営への関与は3割程度、女性の認定農業者は5.5%に留まっており、経営における女性の地位を更に高めていく必要。

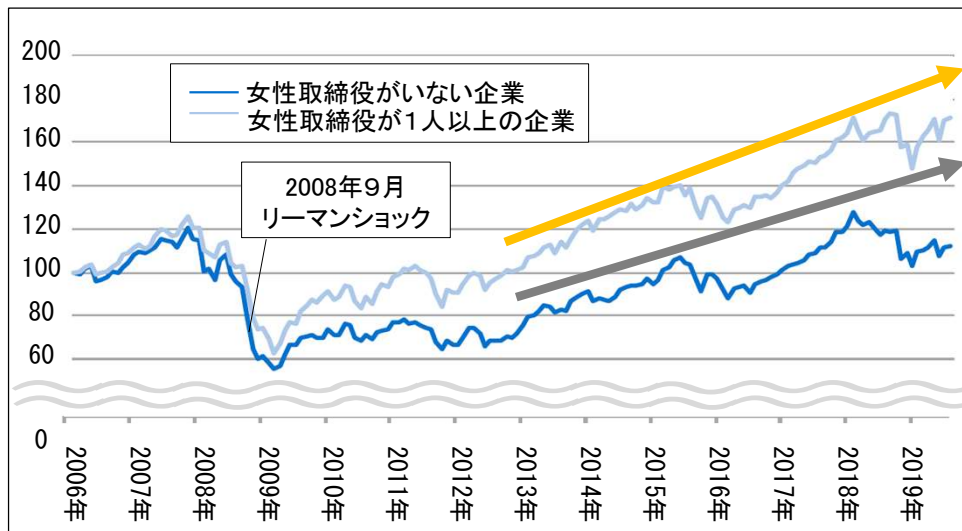
女性の経営参画の効果(農産物販売金額・農業生産関連事業売上金額の伸び率)(個人経営体)



資料: 農林水産省「農業における女性活躍に関する特徴把握分析レポート」(令和5年12月)に基づき作成。

※: 農業生産関連事業とは、「農産物の加工」、「小売業」、「観光農園」、「貸農園・体験農園など」、「農家民宿」、「農家レストラン」、「海外への輸出」、「再生可能エネルギー発電」等を指す。

【参考】企業における女性取締役の有無と株価パフォーマンスの関係 (全世界の時価総額100億ドル以上の企業が対象)



女性取締役がいる企業の方が、いない企業に比べ、株価パフォーマンスが良い。特に、リーマンショック等厳しい環境変化に対して強く、回復が早い傾向。

資料: Credit Suisse
“performance update: The CS Gender 3000 in 2019: The changing face of companies”を農林水産省編集。横軸の目盛りは、毎年1月時点を示す。

経営方針の決定への関わり(農業経営体のうち個人経営体)

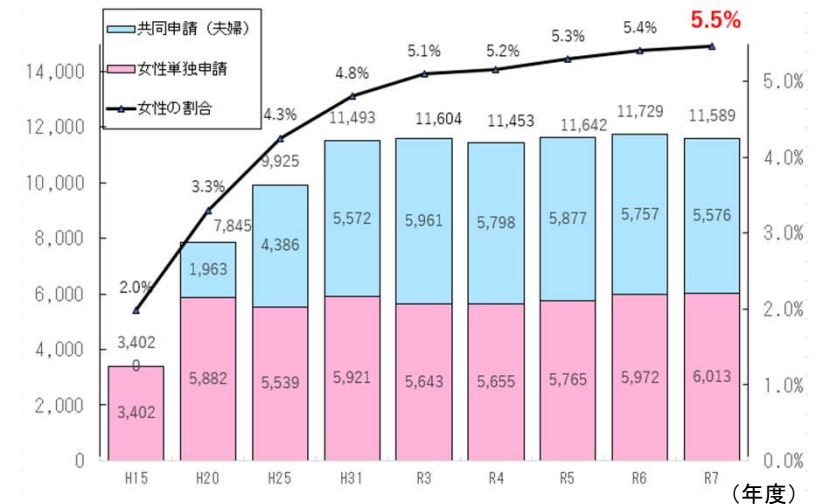
経営主が女性の農業経営体	経営主が男性だが、女性が経営方針決定に参画している農業経営体		経営主が男性で、経営主のみが経営方針を決定している農業経営体
	男女の経営方針決定参画者がいる	女の経営方針決定参画者がいる	
6.8%	5.1%	17.9%	67.5%

女性が経営方針の決定に関わっている農業経営体: **29.8%**

資料: 農林水産省「令和6年農業構造動態調査」

注: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

女性の認定農業者数の推移



資料: 農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別等の認定状況(令和7年3月末現在)」

家族経営協定の推進

- 家族経営協定の締結農家数は約6万経営体（主業経営体数の31.4%）。
- 仕事と生活のバランスに配慮した働き方を推進する上で、引き続き協定締結の重要性を周知。

・家族経営協定とは、近代的な家族農業経営の実現を目指し、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境などについて家族みんなで話し合いながら、第三者の立ち会いの下、取り決めるもの。

・第6次男女共同参画基本計画（令和8年3月閣議決定）において、主業経営体数に対する家族経営協定の締結割合50%（令和12年度）を成果目標としている。

協定締結農家数の割合

家族経営協定 締結農家数	6.0万
主業経営体数	19万戸
主業経営体に占める締結農家の割合	31.4%

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」に基づく確定値、
「家族経営協定に関する実態調査」令和7年3月末現在
注：主業経営体とは、農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体。

取り決めている協定の内容

取決め内容	割合
労働時間・休日	95.4%
農業経営の方針決定	93.3%
農業面の役割分担（作業分担、簿記記帳等）	88.1%
労働報酬（日給・月給）	74.1%
収益の配分（日給・月給以外の利益の分配）	67.4%
経営移譲（継承を含む）	54.3%

資料：農林水産省調べ（令和7年3月31日現在）
注：複数回答。

協定締結事例

Lindo-tomaco, Farm（リントマコファーム）
（千葉県銚子市）
石毛善一さん（経営主）、芳江さん（経営主の妻）、佳知さん（後継者の夫）、麻里子さん（後継者）

- 締結のきっかけ
- ・女性グループで家族経営協定について学習したことを機に、平成26年に協定を締結。
 - ・後継者の長年の夢である「農家レストラン」を実現するために、令和3年に協定の内容を見直して再締結し、後継者も認定農業者の共同申請。

- 締結の効果
- ・役割分担や就業条件の明確化により、研修会等にも気兼ねなく参加でき、個々がスキルアップ。
 - ・働くためのエネルギー再生産の時間を重視し、個々がゴルフや旅行等でリフレッシュするなど、メリハリのある生活が実現可能に。



お野菜クリニック
とまりこ食堂を開設

参考

さあはじめよう！イキイキ
家族の「家族経営協定」
スタートブック
（H28年度）

家族経営協定を締結することによるメリットや家族経営協定の具体例などを掲載。



（公社）
日本農業法人協会



制度上のメリット

○認定農業者制度

実質的に共同経営を行っている場合、収益の配分と経営方針決定への参画が明確にされている家族経営協定が結ばれていること等を要件に、夫婦等による認定農業者の共同申請が認められる。

○農業者年金

青色申請をしている認定農業者等と家族経営協定を締結して、経営に参画している配偶者、後継者に対しては、基本となる保険料（20,000円）のうち一定割合の国庫助成が行われる。

○新規就農者育成総合対策のうち経営開始資金

夫婦ともに就農し、認定新規就農者となる場合（家族経営協定の締結のほか、経営資産の共有などにより共同経営者であることが明確である場合）は、夫婦合わせて1.5人分を交付する。

○新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業

家族経営協定等により、農業経営の方針、農作業の役割分担等を書面で締結している場合に配分ポイントを加算

女性の経営参画に向けたワークシート

- 家族経営において、女性の経営参画や経営発展を進めるためには、経営に関わる構成員がそれぞれの意向を共有しながら、農業・家事・子育て等の分担や負担度合を見直していくことが有効。
- このため、主に夫婦間の分担状況を見える化し、その時々状況に合ったよりよい分担に見直すためのワークシートを作成。

農業と暮らし方カイゼンワークシート

ワークのイメージ

< 農業が忙しいとき >

< 農業が忙しくないとき >

今の生活は、(あなたと一緒に農業をがんばれること)に満足している。
でも本当は、(生産性を上げつつ、お互いのスキルアップの時間を確保)できたらいいなと思っている。
あなたが頑張ってくれている(アスパラ栽培)について、どう思っているのかも知りたいな。

① 今の暮らしを振り返りながら、日ごろの感謝とともに素直な気持ちをパートナーに伝えてみましょう

② 家族の時間を考える上で、負担が大きく、分担等について見直したいと思っているなどの気になっている仕事・家事等とその負担度合いを書き出し、パートナーと改善策について話し合ってみましょう

③ 継続した理想の暮らしに近づくための今後の取組について考えてみましょう

仕事・地域パート

(例) 出荷

負担度合い: 0 20 40 60 80 100 (HELP!)

具体策: 箱詰め作業のバイトを雇う

負担度合い: 0 20 40 60 80 100 (HELP!)

具体策:

負担度合い: 0 20 40 60 80 100 (HELP!)

具体策:

負担度合い: 0 20 40 60 80 100 (HELP!)

具体策:

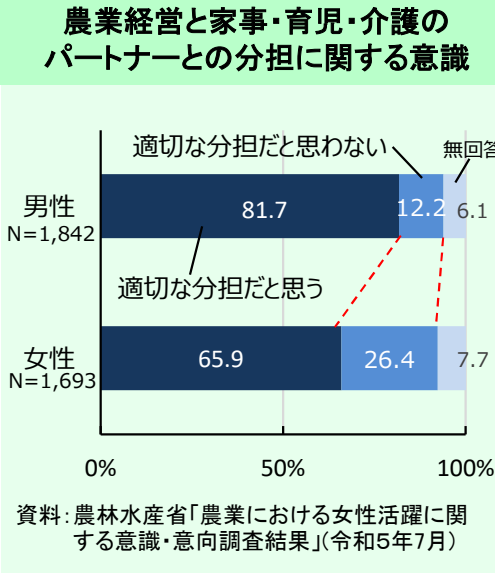
STEP 03 負担軽減策

負担を見直す 第三者 テクノロジー 減らす

負担を見直す 第三者 テクノロジー 減らす

負担を見直す 第三者 テクノロジー 減らす

負担を見直す 第三者 テクノロジー 減らす



ワークシートのダウンロードはこちら

https://myfarm.co.jp/women/next_leader/#kaizen-part

こんなときの活用がおすすめ!

- ・ 農繁期が終わって次の作付け計画を検討するとき
- ・ 決算が終わり、今の経営を見直すとき
- ・ 親から経営を継承することになったとき
- ・ お子さんが保育園・小学校に上がるとき など

ワークシートを実施してみた声

- ・ ワークシートは、自分の理想の暮らしを相手に伝えるのにとっても分かりやすいと思いました。
- ・ 改めて向かい合ってこのような内容を話し合うのは少し恥ずかしく感じましたが、良い機会になると感じました。
- ・ 業務の棚卸や話し合いの良い機会になった。

農業における女性登用の推進

- 第6次男女共同参画基本計画（令和8年3月閣議決定）では、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要である意思決定過程への女性の参画を一層加速するため、「2020年代の可能な限り早期に指導的地位に占める女性の割合が30%程度となるよう目指して取り組みを進める」との目的の達成・取組の強化が示され、令和12年度までの農業分野の成果目標が示された。
- 食料・農業・農村基本計画（令和7年4月閣議決定）においても令和12年度までのKPIを設定。

第6次男女共同参画基本計画（令和8年3月閣議決定）における成果目標

		成果目標（令和12年度まで）
農業委員	女性委員が登用されていない組織数	0
	女性割合	20%(早期)、更に 30%
農協役員	女性役員が登用されていない組織数	0
	女性割合	15%(早期)、更に 20%
土地改良区理事	女性理事が登用されていない組織数	0
	女性割合	10%

食料・農業・農村基本計画（令和7年4月閣議決定）におけるKPI※

地域の方針策定に参画する女性農業者の割合（令和12年度まで）	
農業委員	14.4%(2024) → 30%
農協役員	11.2%(2024) → 20%
土地改良区理事	2.6% (2024) → 10%

※Key Performance Indicatorの略、成果指標のこと

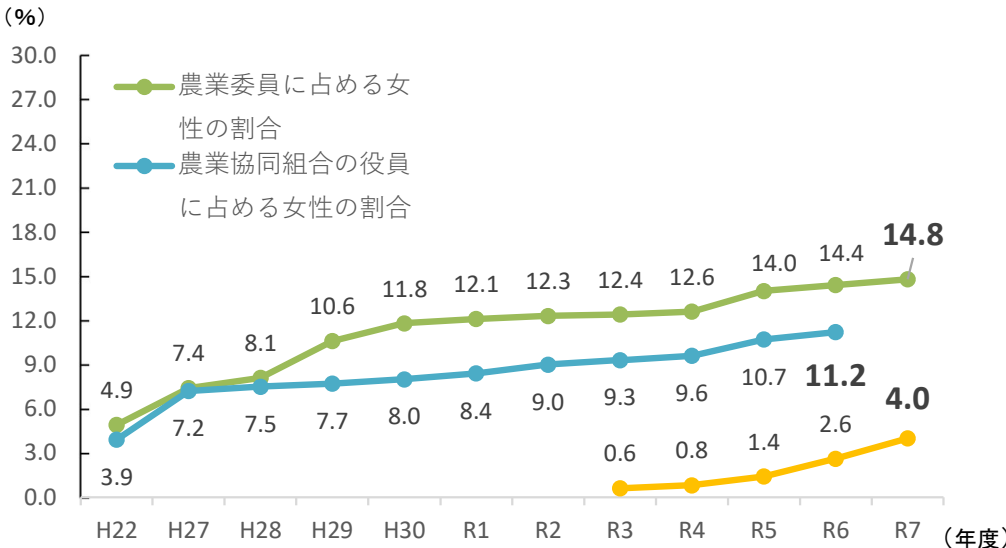
関係法における配慮規定

農業委員会等に関する法律、農業協同組合法、土地改良法において、委員、理事の年齢及び性別に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない旨規定。

女性活躍・男女共同参画の重点方針2026 （令和8年6月25日決定）

農林水産団体等の理事等に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組等を一層推進すべく、地方公共団体・団体への個別の働き掛けとともに、地域農業を率いる意思決定層を対象とした「農業リーダーズサミット」の開催等を通じて意識改革を進める。

農業における指導的地位に占める女性の割合



資料：農林水産省「農業委員への女性の参画状況」（注：各年とも10月1日現在）

資料：農林水産省「総合農協統計表」（注：各事業年度末現在）

資料：農林水産省「土地改良団体における女性理事登用状況」（注：各年とも3月31日現在）

第6次男女共同参画基本計画(R8年3月閣議決定)における成果目標

項目		成果目標 (令和12(2030)年度)	現状 (最新値)
農業委員に占める女性の割合	女性委員が登用されていない組織数	0	169/1,696 (令和7(2025)年度)
	農業委員に占める女性の割合	20%(早期)、 更に30%を目指す	14.8% (令和7(2025)年度)
農業協同組合の役員に占める 女性の割合	女性役員が登用されていない組織数	0	76/507 (令和6(2024)年度)
	役員に占める女性の割合	15%(早期)、 更に20%を目指す	11.2% (令和6(2024)年度)
土地改良区 (土地改良区連合を含む。)の理事に 占める女性の割合	女性理事が登用されていない組織数	0	2,878/4,035 (令和7(2025)年度)
	理事に占める女性の割合	10%	4.0% (令和7(2025)年度)
認定農業者数に占める女性の割合		6.0%	5.5% (令和6(2024)年度)
主業経営体数に対する家族経営協定の締結割合		50%	31.4% (令和6(2024)年度)

資料：内閣府「第6次男女共同参画基本計画（令和8年3月閣議決定）における成果目標」を基に農林水産省作成
（注1）農業委員「農業委員への女性の参画状況」令和7年10月1日現在、（注2）農協役員「総合農協統計表」令和6事業年度末現在、
（注3）土地改良区「土地改良団体における女性理事登用状況」令和8年3月末現在、（注4）認定農業者「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」令和7年3月末現在、
（注5）家族経営協定「家族経営協定に関する実態調査」令和7年3月末現在

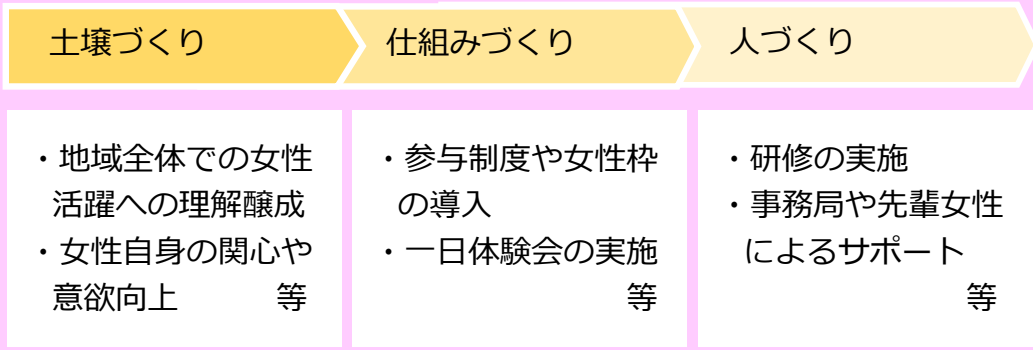
農業協同組合・農業委員会「女性登用の取組事例と推進のポイント」

- 女性の登用が進んでいる農協・農業委員会の取組事例を踏まえ、女性の登用と活躍のポイントを①土壌づくり、②仕組みづくり、③人づくりの3つのステップに分け、女性登用の効果とともに紹介。
- 女性登用を進めることで、地域の農産物の販売促進、地域や組織の活性化、地域の多様な声を反映した農地の集積・集約など様々な効果が発現。



「女性登用の取組事例と推進のポイント」検索

登用に向けた3つのステップ



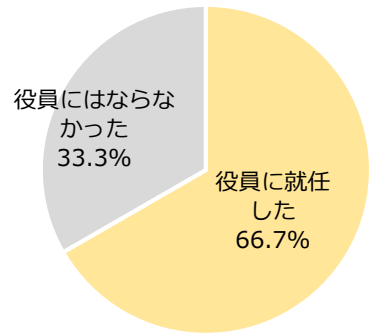
登用がもたらす効果

農協では…	農業委員会では…
・ 農業者の所得増大・農業生産の拡大 （販売促進、直売所の活性化、生産者の育成 等） ・ 地域の活性化 （生活インフラの強化、組合員の満足度の向上 等）	・ 組織の活性化 （広報活動を通じた組織・活動の認知向上、会議の活発化 等） ・ 農業委員会業務の進展 （地域の多様な声を反映した農地集積・集約、遊休農地の発生防止 等）

○JA新はこだて（北海道）

- ・ 女性が理事会にオブザーバー参加する「**参与**」制度を導入。翌期の改選で女性参与2名が**理事に就任**。
- ・ 女性理事は、ネットワークを活かした**正組合員の加入推進**、過疎地域における野菜の**移動販売等**を実施し、**農協運営の活性化**や地域住民の**生活の質の向上**に貢献。

参与の役員への就任状況(アンケート結果)
問：農協運営に参与等として参加した人の翌期以降の役員への就任状況



N（参与の仕組みがある／あった農協数）＝15

○松川町農業委員会（長野県）

- ・ 女性委員が**人・農地プランの策定**を主導し、地域住民へのアンケート、話し合いにおけるファシリテーションを実施。
- ・ **女性が主導することで、地域の女性の参画が進展。アンケートの回収率は8割、話し合いの女性参加率は4割**を達成し、プランの策定を実現。
（同町内他地区の平均回収率 約5割、平均女性参加率 約1割）



人・農地プラン策定の話し合いを主導する女性委員（中央）

農業委員会・農協・土地改良区における女性の活躍事例(R7.3時点)

横田友さん（埼玉県）

秩父市農業委員会 農業委員
農業委員13名／女性4名



特徴的な取組：

- ・平成17年に秩父市初となる女性の農業委員に就任、県内の女性農業委員が参加する「**埼玉県女性農業委員協議会**」を設立。
- ・令和5年に**会長に就任**。令和6年に委員会の**女性の委員数を30%までに引き上げる**ことに成功。
- ・全国の女性農業委員が連携する「**全国農業委員会女性協議会**」の会長を務め、研修会を通した**女性の登用に尽力**。

佐藤美登子さん（北海道）

厚沢部町農業委員会 農業委員
農業委員14名／女性2名
JA新はこだて女性部 部長



特徴的な取組：

- ・JA女性部にて、地域の**伝統料理「かたこもち」の継承活動**や**地域産大豆を使った減塩味噌の製造、販売**に取り組む。
- ・就農希望者の町の受け入れ体制の見直しに携わり、**町の短期農業研修開始**に繋がった。
- ・**女性農業者の交流**の場づくりに取り組む。女性農業者の声を町や委員会、JAに繋ぐ活動を実施。

小宮寛美さん（千葉県）

市川市農協 理事
農協役員35名／女性4名



特徴的な取組：

- ・**農業女子プロジェクトメンバー**。父親の梨農家を継承し、**地区の推薦を受けて農協の理事**として選出。
- ・信用・共済部門委員会の担当として、**農協の運営に対する助言等**を実施。
- ・農業女子プロジェクトにおける企業や他地域の女性農業者との連携事例を**地域の農業者に発信**。

平野美代子さん（福岡県）

糸島農協 理事
農協役員25名／女性2名



特徴的な取組：

- ・JAの**大型直売所「伊都菜彩」**（女性部の朝市夕市が前身）の運営委員会を担当。
- ・女性部グループの中心として、**甘酒ジェラートを開発に貢献**し、**伊都菜彩**のほか、**セブンイレブン**で販売。
- ・**農業委員**や地域、行政と**連携**し、耕作放棄地問題に取り組み、**約4反の放棄地を解消**。

農山漁村女性活躍表彰

「農山漁村女性活躍表彰」（主催：農山漁村男女共同参画推進協議会）は、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりに資することを目的に農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入など女性活躍推進のために優れた活動を行っている個人や団体の方々を表彰。



令和7年度農山漁村女性活躍表彰 農林水産大臣賞受賞者概要

女性地域社会参画部門（個人）

山口 由美氏（埼玉県 入間郡越生町）
在来品種「越生べに梅」のブランド化と販路の拡大とともに、梅の加工品を自家製造し、海外への輸出にも挑戦。全国ウメ生産者女性サミットを立ち上げ、女性生産者の全国的な連携を構築。若手就農者の育成と定着を見据えた仕組みづくりにも取り組む。



女性地域社会参画部門（組織）

味工房小諸すみれ（代表 渡部 五代氏）（長野県 小諸市）
平成17年、農村女性活動推進委員や直売所に関わる女性たちによって創設。料理教室や伝統料理講習会を長年にわたり継続して実施。加工品の安定した生産・販売により、女性の社会参画や雇用創出、地産地消のモデルを築く。



女性登用・組織参画部門

比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会（代表 杉田 京子氏）（埼玉県 比企郡）
20年以上にわたり女性登用の働きかけを実施。意見交換の場づくりなど男女ともに輝ける地域づくりに貢献。新任委員を支える育成体制を構築するとともに、研修会や勉強会の開催など人材育成にも取り組む。



女性優良ビジネス部門

乾 裕佳氏（大阪府 富田林市）
代々農業を営む乾農園の4代目として就農。労働環境の改善や、作業のマニュアル化を推進して、J-GAP認証を取得。大阪府初の機能性表示食品の認証を取得するとともに、地域のGI認証取得に尽力。令和6年には販売額1億円を達成。経営や生産のノウハウを惜しみなく後進に伝え、担い手育成にも貢献。



女性新規事業・チャレンジ部門

花坂 薫氏（神奈川県 足柄上郡山北町）
「牛の力を借りて、山づくりをしたい」という思いから神奈川県山北町へ移住し、県内初となる“山地酪農”に挑戦するとともに、六次産業化により付加価値を高め、少頭数でも持続可能な経営を確立。女性移住者の雇用や女性の就農希望者の研修受入れなど、女性の担い手育成に貢献。



女性活躍応援・次世代育成支援部門

株式会社ジョージア園芸（代表 村上 力氏）（広島県 尾道市）
法人化を機に、「女性が主役となれる職場づくり」を会社の方針として明確に掲げ、部門リーダーを任せる等、主体的に動ける体制を整備。柔軟なシフトにより、安心して長く働ける環境を維持。女性の感性を生かしたブリコラージュフラワー事業や小学校等での花植え活動も実施。



女性が変わる未来の農業推進事業

令和8年度予算概算決定額 72百万円（前年度 60百万円）
〔令和7年度補正予算額 1,275百万円の内数〕

<対策のポイント>

女性農業者の能力の発揮等による農業の発展、地域経済の活性化のため、女性が働きやすい環境づくりや女性グループの活動推進、地域のリーダーとなり得る女性農業経営者の育成や女性農業者の活躍事例の普及、登用に向けた意思決定層の意識啓発、ジェンダーギャップ解消の実証等の取組を支援します。

<事業目標>

- 農業委員に占める女性の割合向上（30%〔令和12年度まで〕）
 - 女性の認定農業者の割合向上（5.5%〔令和7年度まで〕）*
 - 農業協同組合役員に占める女性の割合向上（20%〔令和12年度まで〕）
 - 家族経営協定の締結数増加（70,000件〔令和7年度まで〕）*
 - 土地改良区理事に占める女性の割合向上（10%〔令和12年度まで〕）
- *令和8年度以降の目標は、令和7年12月頃決定予定

<事業の内容>

1. 女性が変わる未来の農業推進事業

① 女性活躍に向けた全国事業

農業分野における女性の登用に向けた各組織の意思決定層のコミットメント強化や、地域をリードする女性農業者の活躍事例の普及の取組を支援します。

② 地域における女性活躍推進事業（地域事業）

各都道府県において、地域の女性活躍の実情に応じて行う、地域のリーダーとなり得る女性農業経営者の育成、地域の女性農業者グループの活動、女性農業者の育児と農作業のサポート活動、女性の継続雇用促進等の取組を支援します。

2. 【令和7年度補正予算】

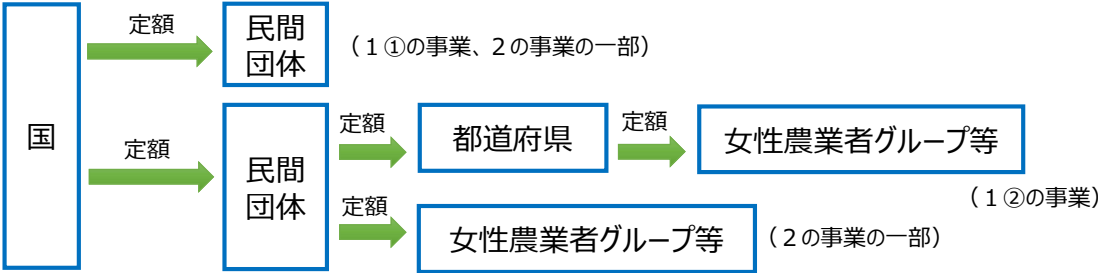
雇用就農緊急対策のうち女性の就農環境改善・活躍推進事業

男女別トイレや更衣室の確保等の女性が働きやすい環境の整備や全国女性リーダー育成研修の実施、女性グループの活動支援、女性登用に向けた地域内ジェンダーギャップ解消等の取組を支援します。

<事業イメージ>

女性活躍 に向けた Stage		農業・ 農村への 呼び込み	農業・ 農村への 定着	経営参画 経営発展	地域の方針策定 への参画
令和8年度予算	全国事業	社会 参画の 推進	地域組織の意思決定層の コミットメント強化 女性活躍リーダーサミットの開催		
	環境 整備	女性活躍の理解促進 地域をリードする女性農業者の活躍事例の普及			
	地域事業	社会 参画の 推進	地域の女性農業者グループの活動推進 女性グループの事業活動や研修会の開催等		リーダー育成 地域の実情に応じた女性 リーダー育成研修の実施
		環境 整備	女性活躍の理解促進 女性活躍の意義、女性活躍の事例等について研修会等を通じ周知 女性が働きやすい環境の整備 女性農業者の育児と農作業のサポート活動、家族経営協定の締結に に向けた相談会の開催、女性の継続雇用促進のための研修会の開催等		
令和7年度補正予算	全国事業	社会 参画の 推進	女性農業者グループの活動推進 企業との協働や都道府県を越えて活動する女性グループの事業活動や研修会の開催等		リーダー育成 全国女性リーダー育成研修の 実施
		ジェンダーギャップ解消 専門家伴走による女性活躍・登用拡大のための実証事業			
	環境 整備	女性が働きやすい環境の整備 男女別トイレ、更衣室、休憩室、託児スペース、アシスト スーツ等の確保、女性正社員の確保・継続雇用の促進			

<事業の流れ>



〔お問い合わせ先〕 経営局就農・女性課（03-3591-5831）

女性農業者に対する支援事例

女性リーダー育成研修

- (1)都道府県による、将来の農業委員や農協役員の候補となる女性農業者を対象とした研修会の開催等を支援
- (2)自地域に留まらない幅広い視野と経営能力を有し、全国的にも活躍が認められる女性農業経営者を育成するため全国女性リーダー育成研修を開催

全国女性リーダー育成研修

- ◆リーダーシップやマネジメントなど、経営に必要な知識の習得
- ◆座学前後のeラーニング、研修前後のコーチング、講義内のグループワークを通じた、問題解決能力の向上
- ◆現地見学研修などを通じた、地域で活躍する女性農業委員などの特別講義や交流
- ◆模擬商談での実践的な営業力の養成



多様な人材の活躍に向けた研修会

農村地域の男性の意識改革を促すこと等を狙いとした研修会の開催等を支援

- ・男性農業経営者等の地域の担い手を対象に女性をはじめとする多様な人材が働きやすい職場づくりのポイント等について研修



多様な人材が活躍する経営体の視察

女性農業者のグループ活動支援

グループの立ち上げや発展に向けた商品開発、先進事例調査、研修会の開催等を支援

「NAGANO農業女子交流会」

- ・県内各地域の農業女子グループ同士の交流や、若手女性農業者のグループ活動がない地域での交流の促進、半農半X女性※等の交流の場を作るため、若手女性農業者間の県域の交流会を開催。
- ※別の仕事をしながら農業をすること



女性農業者の交流の場を創出

女性農業者の育児と農作業のサポート

女性農業者の経営参画に向けた子育てサポート、託児スペースの設置や地域住民等による農作業サポートを支援

未来農ファミリー（愛媛県西条市）

- ・地域の託児施設が開所していない土日、祝日にも農作業を行う必要があることから、
 - ①臨時的な託児スペースの設置及び託児
 - ②女性農業者と農業に関心のある地域住民とのマッチングによる農作業サポート等を実施



女性農業者の圃場に臨時的な託児スペースを設置

女性が働きやすい環境整備

女性の就農環境改善・活躍推進事業

男女別トイレ

株式会社ほほえみ農園（愛知県西尾市）

- ・女性スタッフの離職の理由の一つにもなっていた共用トイレを男女別トイレに改修
- ・更衣室・休憩室も整備し、求人の際のPRが可能に



更衣室

有限会社アーティフル（熊本県熊本市）

- ・新農場をオープンするも求人情報への反応はゼロ。働き手が足りず苦勞した。
- ・複数人が着替えられる更衣室を整備。



託児スペースの整備

有限会社市の瀬牧場（静岡県富士宮市）

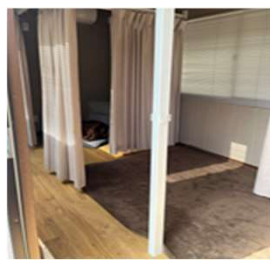
- ・小さい子の急な体調不良、早朝の勤務で保育園に預けられない等の課題
- ・病児保育室や託児施設を整備。



休憩室

株式会社陽だまりファーム（静岡県浜松市）

- ・休憩は自分の車の中や外でとるなど、あまり落ち着かない状況。
- ・休憩室は安心して仮眠や着替えができるようにプライベート空間を大切に考え、工夫。



アシストスーツ

有限会社るシオールファーム（滋賀県甲賀市）

- ・女性社員が20kg以上あるコンテナを腰の高さまで持ち上げることが困難だった。
- ・体力差による作業の隔たりがアシストスーツの導入で減少。



農業リーダーズサミット2025-変革の時代を生き抜く地域農業の在り方-

地域農業のトップ層に対する女性参画・登用の重要性意識啓発を目的に、農業分野での初の取組として、全国の地域農業組織のリーダーを集めた農業リーダーズサミットを開催。

<背景>

- ・女性登用が進まず足踏みしている農業組織が全国多数。
- ・組織トップ層のリーダーシップが女性登用の前進に大きく影響

- ・現場の地域農業組織トップ層における女性登用の意義について考えて頂く場として、「農業リーダーズサミット」を初開催

- 地域農業における女性登用意義や組織トップの役割に関する基調講演
- 各農業関連組織による現状や女性登用に向けた今後の取組方針の表明
- 女性の人材育成の専門家による女性登用の障壁や解決のヒント解説

農業委員会会長、農協理事、土地改良区理事長など、地域農業組織のトップ層を中心に、全国から約350名が参加



意思表明



基調講演

令和7年度農林水産省補助事業

農業リーダーズサミット2025

- 変革の時代を生き抜く地域農業の在り方 -
女性登用の意義

11.27(木) 9:50-11:30 (9:30開場)
東京 文京シビックホール 小ホール

協力／一般社団法人全国農業会議所、
JA全中(一般社団法人全国農業協同組合中央会)、全国土地改良事業団体連合会

様々な課題が山積する中、日本農業の発展・地域経済の活性化には、地域の誰もが個性と能力を十分に発揮し、多様な活動に参画できる地域社会の実現が必要です。

現在、我が国では、女性は基幹的農業従事者(※)の約4割を占める農業の重要な担い手ですが、農業界の女性のリーダーの数はまだまだ限定的です。

女性の登用を含めた組織の体制・方針・制度設計は、組織トップによるリーダーシップやコミットメントが不可欠であることから、今回、「変革の時代を生き抜く地域農業の在り方-女性登用の意義」をテーマに、特別基調講演による地域・人材管理の在り方、各農業関連組織のトップによるビジョンの表明、女性の人材育成の専門家のお話を通した課題やその打開策など、農業組織の成長に向けて活かせるヒントを皆様とともに探っていきます。

(※) 基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

基調講演	意思表明	モデレーター	
元農政副大臣・元財務大臣 大正大学公共政策学教授 兼 地域構想研究所所長 片山 善博氏	一般社団法人 全国農業会議所 専務理事 登壇者 堀垣 照哉氏	JA全中 (一般社団法人 全国農業協同 組合中央会) 常務理事 登壇者 福岡 昭宏氏 全国土地改良 事業団体連合会 専務理事 登壇者 室本 隆司氏	株式会社Will Lab代表取締役 (女性の人材育成の専門家) モデレーター 小安 美和氏

◀お申し込みはこちらのホームページから
農業委員会会長・委員、農協役員、土地改良区役員、自治体、農業経営者など地域農業の在り方や、農業界での女性登用についてご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。
ホームページ <https://myfarm.co.jp/women/leaderssummit2025/>

参加費
無料

女性活躍の推進に向けた動画コンテンツ（令和5・6年度作成）

- ・ 女性が変わる未来の農業推進事業において、農業委員会や農協における女性登用の事例や地域の役割分担に関する意識啓発、女性リーダーの育成を推進するための動画を作成し、配信しています。
- ・ 男女を問わず、女性の経営参画・経営発展や地域のリーダーに関心のある方はぜひご覧ください！

性別に基づく一方的な思い込み ～地域における役割・分担の再点検～

「女性が家事を行うべき」、「男性が組織の主要な役割を担うべき」など、ときに農業組織や地域における女性の参画・登用の障壁ともなる性別に基づく一方的な思い込みや固定的な性別役割分担意識について取り上げています。男女の農業者の皆様にアンケートを実施しつつ、その結果も踏まえ事例（ドラマ）を展開、解決方法なども紹介しています。

身近にある性別に基づく一方的な思い込み
(固定的な性別役割分担意識)の例

CASE 1

「女性は機械操作が苦手だから、機械のことは男性が決めた方がいい」

女性も機械を使う作業をしている。それなのに機械のことを男性が全て決めるのは疑問。

CASE 2

「女性や嫁の仕事や意見は補助的なもの」

女性や嫁の仕事や意見を「補助する役割」と決めつけられてしまうのは不安。

CASE 3

「農産物の加工や加工品販売は女性の仕事」

加工の仕事は女性だけの仕事ではないのに、スキルを伸ばせず残念。

トップが導く女性活躍 ～JAみなみ筑後の事例から～

女性の理事登用を組織トップが先導しつつ組織一丸となって積極的に進めている福岡県JAみなみ筑後の取組を取り上げています。

女性登用の仕組み作りを先導した、当時と現在の組合長をはじめとする関係者の皆様にインタビューし、女性の参画や登用を進めるに至った経緯や取組の進め方等を紹介しています。



- ご協力いただいたJAみなみ筑後関係者
- 鍋田 博敏さん (JAみなみ筑後総務部長)
 - 乗富 幸雄さん (JA福岡中央会会長・元JAみなみ筑後代表理事組合長)
 - 柿原 光行さん (JAみなみ筑後代表理事専務)
 - 大坪 康志さん (JAみなみ筑後代表理事組合長)
 - 只隈 貞子さん (JAみなみ筑後理事 (2期目))

女性が活躍中！ 地域農業の未来をつくる農業委員の1日

女性農業委員のとある1日を密着取材し、地域での活動の様子や想い、パートナーや周りの農業委員の声などを紹介しています。



- ご協力いただいた女性農業委員
- 稗苗 史絵さん (富山県魚津市農業委員会)
 - 笠原 尚美さん (新潟県阿賀野市農業委員会)

女性農業経営者3名に聞いた、「わたしのターニングポイント」 一歩踏み出すわたしの農業経営ヒント

経営に参画し、地域で活躍する女性農業者の、就農や経営発展のきっかけ、女性活躍に必要なだと思うこと等を座談会形式で紹介しています。



- ご協力いただいた女性農業経営者
- 大吉 枝美さん ((株)大吉農園：鹿児島県)
 - 井上 真梨子さん ((株)Farm1739：栃木県)
 - 大塚 早苗さん ((有)大塚ファーム：北海道)

リンク先のWEBサイト（株）マイファームWEBページ内）よりコンテンツの視聴が可能です！

<https://myfarm.co.jp/women/empowerment/>



女性の活躍推進に向けた各種予算等における対応

1 企画・立案段階からの女性の参画促進

里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金

農業関係 林業関係 水産関係

活躍支援	ポイント加算	要件認定	その他
女性に対する直接的な支援	女性が主体の取組の場合等に、配分ポイントの加算	取組を実施する場合に、女性の活躍推進に資する要件として認定	表彰、優良事例の発信など

2 農林水産業や6次産業化の取組等で活躍する女性への支援

- 女性が変える未来の農業推進事業
- 雇用就農緊急対策のうち女性の就農環境改善・活躍推進事業
- 農地利用効率化等支援事業
- 地域農業構造転換支援対策のうち地域農業構造転換支援事業
- 新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業
- 新規就農者確保緊急円滑化対策のうち世代交代・初期投資促進事業
- 浜の活力再生・成長促進交付金のうち水産業強化支援事業及び海業推進事業

- 雇用就農緊急対策のうち雇用体制強化事業
- 雇用就農の総合的な推進のうち雇用就農資金
- 地域農業構造転換支援対策のうち新規就農者チャレンジ事業
- 農山漁村振興交付金
- 「緑の雇用」担い手確保支援事業
- 森林集約・循環成長対策のうち林業・木材産業循環成長対策交付金のうち、先進的な林業機械等の導入及び特用林産振興施設等整備
- 未来の林業後継者支援事業

3 女性経営者等の発展支援

- 女性が変える未来の農業推進事業（再掲）
- 雇用就農緊急対策のうち女性の就農環境改善・活躍推進事業（再掲）
- 農林水産顕彰等普及費補助金
- 獣医療提供体制整備推進総合対策事業
- 肉用牛経営安定対策補完事業のうち肉用牛生産基盤強化対策（肉用牛ヘルパー推進）＊

- 酪農経営支援総合対策事業のうち酪農経営安定化支援ヘルパー事業＊
- 農業経営・就農支援体制整備推進事業のうち優良経営体表彰等事業
- スーパーW資金（農林漁業施設資金）
- 農山漁村振興交付金（再掲）
- ＊ 浜の活力再生・成長促進交付金のうち浜の活力再生プラン推進等支援事業のうち漁村女性活躍推進事業

4 指導的地位への女性の登用促進

- 女性が変える未来の農業推進事業（再掲）
- 雇用就農緊急対策のうち女性の就農環境改善・活躍推進事業（再掲）
- 新規就農者育成総合対策のうち農地の受け手確保に向けた新規就農者誘致環境整備事業

- 農業委員会交付金
- 機構集積支援事業
- 地域農業構造転換支援対策のうちスマート農業教育環境整備事業（新規就農者誘致環境整備（スマート農業導入就農型））

※各種事業等の女性の支援に向けた取り組み内容については、「農林水産業及び農村漁村の活性化のための女性の活躍推進について」をご参照ください。

「農業女子プロジェクト」について ～概要～

趣旨

「農業女子プロジェクト」（2013年設立）は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ

（2026年4月30日現在）

農業女子メンバー

パートナー
（企業・団体）

はぐくみ隊
（教育機関、部活・サークル等）



全国 **1,123**名



43社



10団体

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子プロジェクトメンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信（それぞれの企業活動の一環として推進）

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関（部活・サークル等含む）と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちにできる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

NEXTラボ

メンバーの関心の高いテーマについて勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信

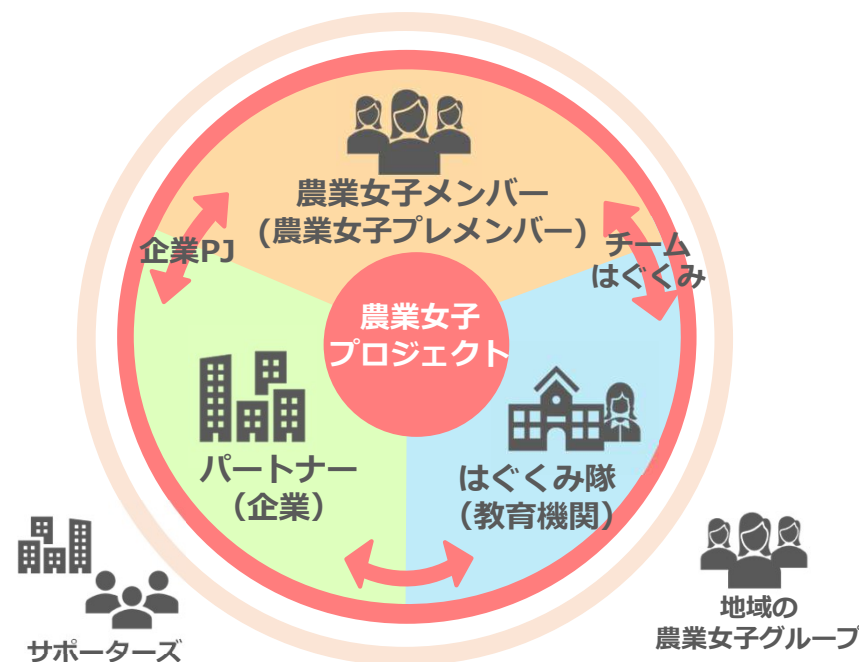


プロジェクトの目的

社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える



第13期 農業女子プロジェクトの活動方針

（2025年11月～2026年10月）

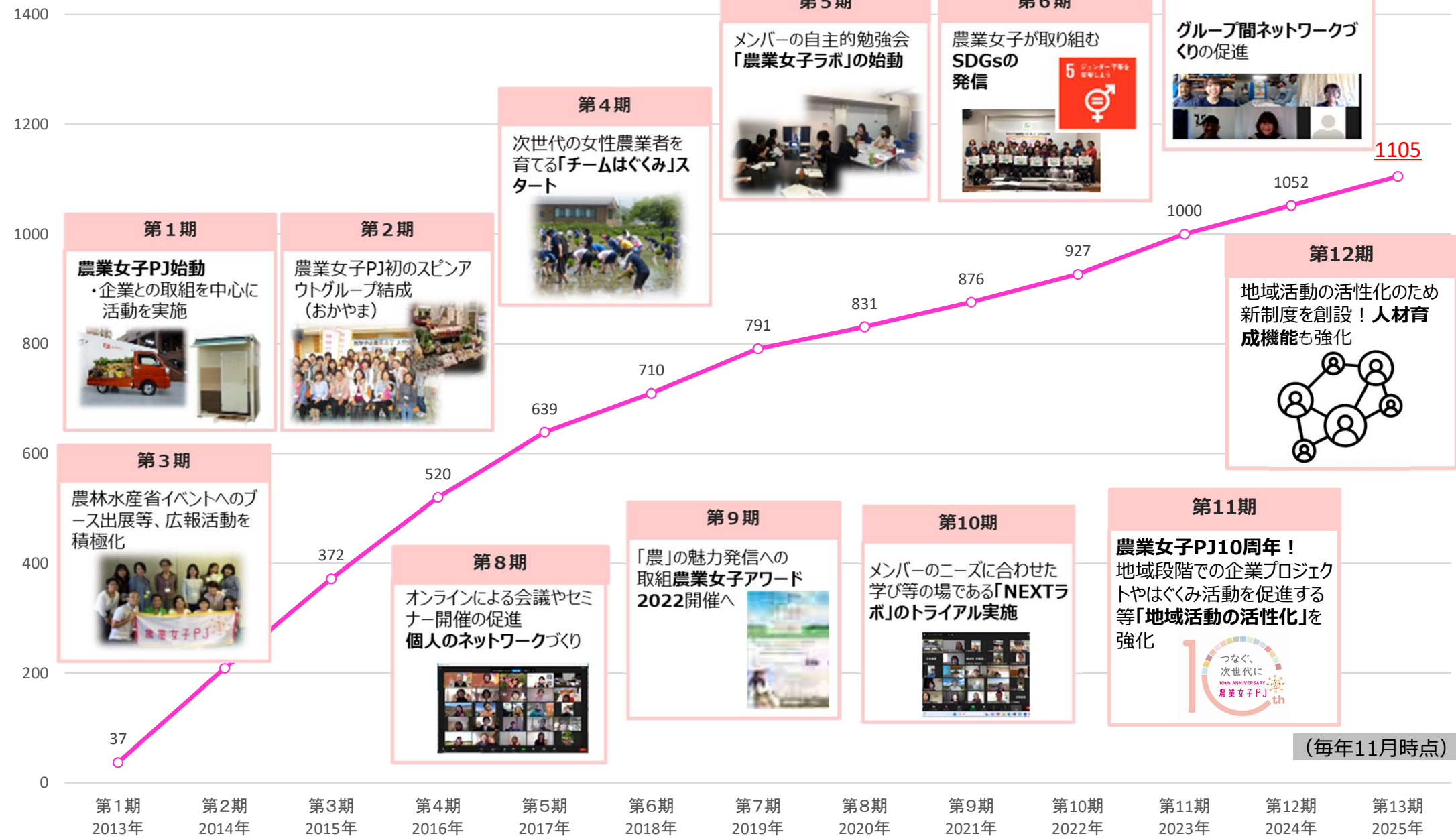
1. 農業女子プロジェクトの
ネットワークを活かした学びの提供

2. パートナースによるプロジェクトの多様な展開

3. 「農」の魅力の発信

「農業女子プロジェクト」のあゆみ

メンバー数の推移



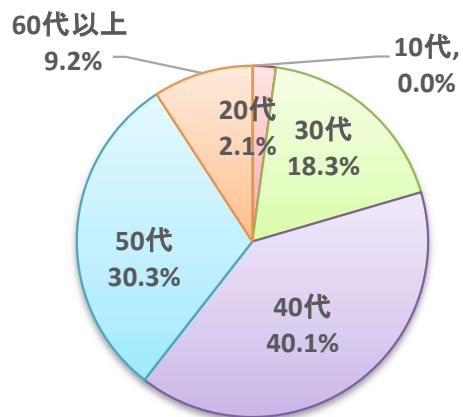
農業女子プロジェクトメンバーに関するデータ (2026年4月30日現在)

- 農業女子メンバー：1,123名
- 農業女子メンバーは20-40代が6割を占める

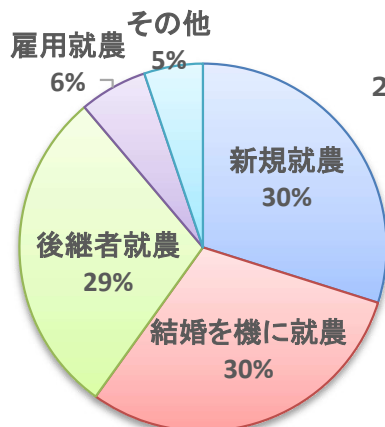
農業女子プロジェクトメンバー

- 農業女子メンバー（女性農業者）
- 農業女子プレメンバー（就農を目指す女性） **NEW!**

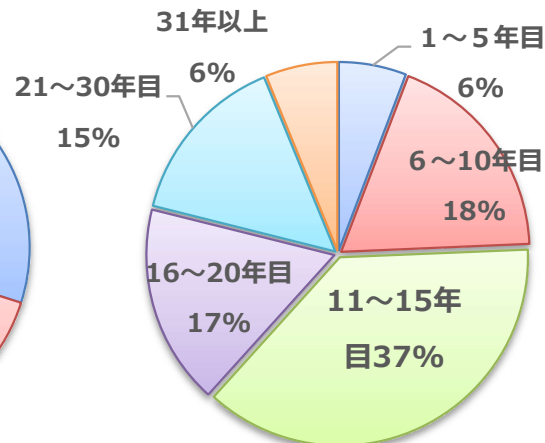
農業女子メンバー
年齢構成



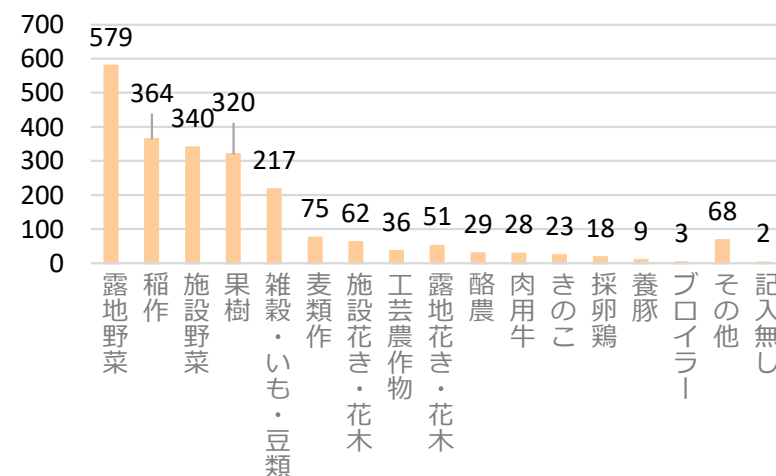
農業女子メンバー
就農ルート



農業女子メンバー
就農歴

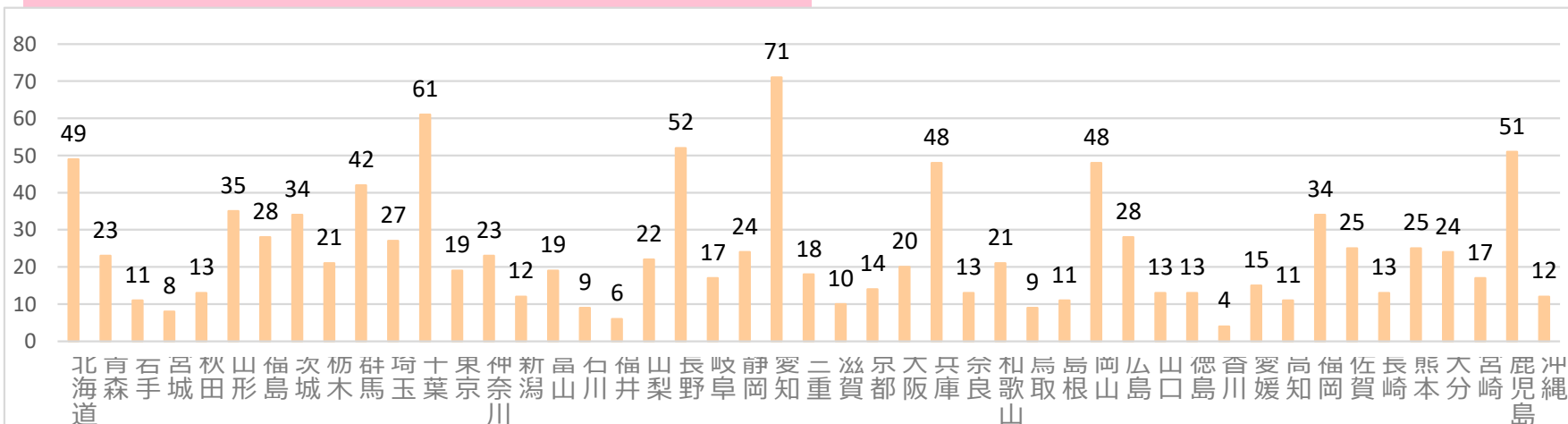


農業女子メンバー 農業生産品目



※農業生産品目については複数回答

都道府県別 農業女子メンバー数 (1,123名)



＜メンバー募集中＞
農業女子メンバー・
プレメンバーの登録は
公式Webページから！



<https://nougyoujoshi.maif.go.jp/join/>

“持続可能な社会の実現のために 農業者のわたしたちにできる5つのこと”

5 ジェンダー平等を
実現しよう



農業女子が取り組んでいる「SDGs」につながる活動の中から5つのメインテーマを抽出し、農業女子に積極的に取り組んでほしいゴールとして設定。

〔農業女子たちの取組事例〕

その1 健康的な食生活の実現に取り組む



その2 農作業体験から“食”と“農業”の大切さを教える



その3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す



その4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する



その5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む



保育所で「お迎えマルシェ」開催



学校給食への食材提供



小学校での出前授業、収穫体験



農を伝える絵本の制作・読み聞かせ 「AGRI BATON PROJECT」



女性が働きやすい職場づくり



スマート農業を活用した ストレスフリーな農業経営



町の人たちに地域の農の魅力を紹介



メディアを通じて農への想いを発信



貝殻等の海洋廃棄物を使った 循環型農業



ブドウの搾りかすで肉用牛を肥育



農業女子プロジェクトパートナー [50音順]



アイアグリ

データドリブンでスマートな
農業経営を促進

味の素ヘルシーサプライ

活かすぜアミノ酸
～バイオスティミュラントで収量UP～

井関農機

「夢ある『農業女子』応援Project」

折兼ホールディングス

使用済の容器をリサイクル「バ
ガスフードサイクリングプロ
ジェクト」

温泉道場

農女プロデュース替わり風呂PJ

カネコ総業

親子駄立て甲子園

キューピー

あいち みんなのサラダプロジェクト

グローバルネットワーク

マルシェを通じて
農業女子をサポート

CROSSPLUS

未来につながるプロジェクト

コバ

女性農業従事者への
福利厚生制度整備

施設園芸.com

ハウス栽培はお任せ！農業女子に
お役立ち情報を発信！

SHARP

「スマート農業技術の知見アップ」
プロジェクト

政策研究大学院大学

性差医学の視点から農業女子を支
援するWaiSE(ワイズ)プロジェクト

全国農協観光協会

農業女子
つなぐプロジェクト

ソル・メディア

サカマ食育マルシェ

大興貿易

農業女子の「美と健康」を育む
第二弾

大日本印刷

より使いやすいパッケージの
調査・開発検討

ダイハツ工業

農業女子マルシェ×ハイゼット
トラック全国展開

タニタ

タニタふれあい農園へ
の農業指導

近正

農作業を快適に!! 農業女子サポ
ートプロジェクト

堤製作所

農業女子の姿勢を美しく！
姫鉤×理学療法士からの提案

東和コーポレーション

地球にも人にも優しい手袋で新たな
価値の創造を

つながるグループ

地域と農業女子をつなぐ

ドリムワークス

ファッショナブルな農作業衣のご提案

東光商事、ユニークピース

AGRI・血行促進・LAB (アグリ・血行促進・ラボ)
～TERAX × 農業女子でつくる、明日の元気プロジェクト～

流山家守舎、HouCo,inc.

農業女子と考える、地域の価値創造プロジェクト

日本農薬

明日の農業女子を考える日農PJ

日本品質保証機構

農業女子プロジェクト GAP講座

農産物加工協会

持続可能な農業を目指す！地域活性化
に繋がる食品加工化への協力

羽田未来総合研究所

羽田空港 和蔵場
「生産者直送マルシェ」プロジェクト

have

農業女子PJ×食堂カフェipotto
つながる、ごはん

阪神素地

農業女子目線で男性用、女性用の
長靴・ヤッケなどをプロデュース

パソナ農援隊

農業女子×Awaji Nature
Lab&Resortプロジェクト

フマキラー

「素敵・未来・ガーデン」
プロジェクト

丸山製作所

ウルトラファインバブルバブルで
農業女子を応援

ミズノ

モノ・コト農業改善プロジェクト

ミツロウグループホールディングス

プラネタリーヘルス社会実装モデル
～土壌蘇生×価値創出型農業経営支援事業～

三越伊勢丹

百貨店で食のトレンドキャッチ&
トレンド作り

桃谷順天館

美味しく食べて、腸からキレイに！
Bistro M's PJ

モンベル

女性向け農業ウエア開発
プロジェクト

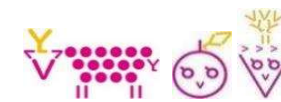
楽天

楽天ラクマ
「産地直送・こだわり食品」

<パートナー募集中>

パートナーの活動や登録にご興味ある場合は、以下メールアドレスまでご連絡ください。

【農業女子プロジェクト事務局】Mail : team-jyosei@maff.go.jp



これまでの企業プロジェクトの主な成果

井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

◆農業女子草刈機『プチもあ』 [2017.12]

- ・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



- ◆耕耘機『ちょこプチ』 [2016.12]
- ◆トラクタ『しろプチ』 [2015.6]

カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

◆【Lacuno】シリーズ [2021.1]

- ・手になじみ、作業しやすく疲れにくい
らくらくグリップシリーズ「Lacuno」
(ショベル・キッズ鎌・鍬)の開発



◆【Lacuno】シリーズ (鎌・鍬・レーキ) [2018.11]

モンベル

農作業も快適な作業着を開発

◆フィールド クールパーカ Women's [2021.1]

- ・農業女子の意見を取り入れて、素材やシルエットにこだわり、暑い季節の農作業を快適にする速乾性・通気性に優れたパーカを開発



◆フィールドもんぺ [2019.3]

◆フィールド レイン ジャケットWomen's・ フィールド レイン パンツWomen's [2018.9]

◆クリマプロ フィールドストレッチ カバーオールwomen's [2016.9]

三越伊勢丹

消費者と農業女子をつなぐ接点の創出

◆三越銀座店でのコラボ商品販売& PJメンバー出店 [2023.11]

- ・PJメンバーの食材を使ったコラボ商品の販売
- ・PJメンバーが出店し、生産品を通じて「農」の魅力を発信



ダイハツ工業

女性目線の軽トラック開発

◆女性目線の軽トラックの開発 [2014.9]

- ・カラフルな全8色のボディーカラー
- ・UVカットガラス採用。
フロアの高さを下げるなど乗降しやすく。



全国農協観光協会

都市住民と農業女子をつなぐイベントを開催

◆農業の魅力を伝える【農業女子つ ・な・ぐPJ】 [2020.11~]

- ・「職業体験EXPO」などのイベントでPJメンバーによる農業の魅力発信
- ・親子で参加できる農業体験の開催



農業女子プロジェクトはぐくみ隊 [50音順]



【はぐくみ校】

桜美林大学

農業女子メンバーによるセミナー開催。
農業の魅力発信を研究。



近畿大学

卒業生である農業女子メンバーが母校で講演、母校の学園祭マルシェに参加。農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施。



佐賀大学

『さが農業女子「カチカチ農楽が〜る」』メンバーによる招待講義を実施。



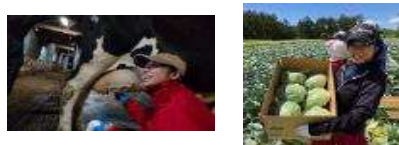
東京家政大学

農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施。



東京農業大学

農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施。



羽田国際高等学校

WAP

～Wings Agriculture Project～
農業×PBL型授業の実施。

令和6年度より、
蒲田女子高等学校から
校名変更



南九州大学

農産物の播種、栽培、PR、食卓に並ぶまでを考え、宮崎県の農業女子PJメンバー、女性農業者グループと活動、イベント等で販売。



宮城大学

学生に対し、参画企業や農業女子メンバーと連携したセミナーや農場訪問を実施。小中学生への食農教育の実践を通じて、学生自身の農業のイメージを具体化させる。



山形大学

農業女子メンバーと学生によるワークショップ。
農業女子プロジェクトメンバーによる講義。



【はぐくみ部】

東大あぐりえこん。

勉強会・イベント等を通じた農業女子メンバーと学生の交流と発信



はぐくみ部 第1号！
わたしたち
「はぐくみ部」に参加しました！！
部活・サークル等の単位でも参加できます！



○はぐくみ隊

○はぐくみ校（教育機関）

○はぐくみ部（部活動・サークル等）

<はぐくみ隊募集中>

パートナーの活動や登録にご興味ある場合は、以下メールアドレスまでご連絡ください。

【農業女子プロジェクト事務局】Mail : team-jyosei@maff.go.jp

合計
10団体
(9校・1部)

「NEXTラボ」の取組

概要

農業女子メンバーから「地域の研修の出席者は男性が多く、女性が学べるチャンスが欲しい」「経営発展につながるよう、栽培や販売のノウハウを学びたい」等の声が多く寄せられたことから、**農業女子プロジェクトメンバーの学びと交流の場**として開催しています。

2025年度の取組

- ・農業女子メンバーからアンバサダーを募集し、事務局と一緒に企画・運営。
- ・テーマの概要を学ぶ導入セミナー1回、テーマを深掘りしていく探究セミナー2回を実施。（3テーマで全9回開催）
- ・セミナーとメンバーの交流会の2部制、全回オンライン開催。
- ・加工品の製造・販売に関する導入セミナーでは、NPO法人農産物加工協会に講師を依頼

参加者の声（加工品の製造・販売に関する 導入セミナーより）

- ・加工に関し、全く知識がなく何から始めたらいいのかわからなかったが、1から詳しい説明が聞け、理解が深まった。
- ・自分の現在の加工業務の状況を確認できる機会になって良かった。



加工品の製造・販売に関する
ファームtoマーケットラボ セミナー参加者



参加者募集中

NEXTラボ 2025

2025年8月～2026年2月開催

NEXTラボとは

農業女子PJメンバーから立候補いただいたアンバサダーの皆さんとともに、「農業女子PJメンバーの学びたい！」を叶えるセミナーを企画しました。NEXTラボ3年目となる今年は、テーマごとの概要を学ぶ「導入セミナー」のほか、より実践に近づくための「探究セミナー」を開催します。また、先輩農業女子PJメンバーによる実体験から学ぶ機会も創出し、農業女子PJメンバーの交流も昨年よりパワーアップする予定です。セミナーは、農業女子PJメンバーなら誰でも参加できます。皆さんのご参加、お待ちしております！

セミナー
全9回実施

参加無料

オンライン開催

セミナーと交流会
2部構成

セミナー内容

テーマ

- ① 加工品の製造・販売に関すること【第1回 8/1(金)】
「ファームtoマーケットラボ～あなたの1歩を次の1歩へ～」
- ② ECサイト等の通信販売に関すること【第1回 8/28(木)】
「農園ブランドで夢を紡ぐEC戦略ラボ」
- ③ 農業資材・農業技術に関すること【第1回 9月上旬予定】
「ものテックみらいラボ」

構成

- ・導入セミナー【各ラボ1回】 テーマの概要、全体像を知るためのセミナーと交流会
 - ・探究セミナー【各ラボ2回】 導入セミナーを受け、さらにテーマを深掘りして学んでいくセミナーと交流会
- ※探究セミナーの詳細は、農業女子プロジェクトのWebページや各種SNSにて情報発信します。

参加の流れ

お申し込み

参加URL確認

セミナー参加

事後アンケート回答

農業女子PJメンバーにNEXTラボのお申し込みURLをお送りします。まだメンバーでない方は、登録いただくことで参加可能です！ウェブページより登録手続き後、事務局から電話での内容確認が完了したら、正式にメンバー登録となります。

農業女子PJメンバー登録はこちらから
<https://nouguyoujoshij.maff.go.jp/sign/>



お問い合わせ先：農業女子プロジェクト事務局

03-3502-6600

team-joysei@maff.go.jp

「農業女子プロジェクト」活動の拡大

農業女子PJの地域版グループ（スピンアウト）

農業女子プロジェクトから派生した地域版グループが全国に9グループ発足し、メンバーのアイデアや課題に共感する企業とのコラボ活動を実施。

①おかやま農業女子(岡山県)



②さが農業女子-カチカチ農楽が〜る-(佐賀県)



③Happy Farming 〜いいっちゃない福岡〜(福岡県)



④やまがた農業女子ネットワーク
(山形県)



⑤やまなし農業女子(山梨県)



⑥しまね農業女子(島根県)



⑦かごしま農業女子プロジェクト(鹿児島県)



⑧くまもと農業女史コミュニティAgrokka(熊本県)



⑨ノウタノアオモリ(青森県)



地域版グループを含めて全国では
様々な農業女子グループが活発に活動中です！



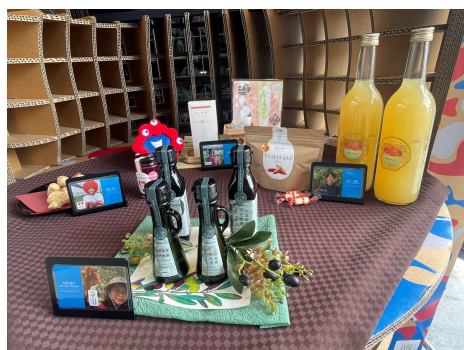
「農業女子プロジェクト」活動の拡大

農業女子の活動を世界に発信

農業女子メンバーによる2つのグループが、
大阪・関西万博に参加！
パンフレットや映像、商品サンプルの配布などにより
女性農業者が未来に向かって取り組む活動を発信。
【2025.8.13 展示】



「かごしま農業女子プロジェクト」による展示



「全国農業女子EXPO25」による展示

情報発信の強化

農業女子PJWebサイトを一新し、SNSを活用し、農業女子プロジェクトの取組を広く周知。



2025.10.30
農業女子PJWebサイトリニューアル！

<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/>



<https://www.instagram.com/nougyoujoshi/?hl=ja>

【公式Instagram】



<https://www.facebook.com/nougyoujoshi.project>

【公式Facebook】

令和7年度 農林水産祭 内閣総理大臣賞（女性の活躍）

徳永 順子さん（福岡県みやま市）



徳永氏は昭和56年に就農し、農業委員会会長を始め、様々な組織の役員や委員を務め、男女関係なく人々を巻き込んで地域の課題解決に取り組んでいる。



耕作放棄地の解消

徳永氏は、平成14年に農業委員に就任以来、他の農業委員に声を掛け、農業委員が中心となって遊休農地の解消に取り組み、平成26年度から昨年度までに11.4haが解消された。再生した農地の一部には、景観改善のため菜の花栽培を導入し、なたねを使用したオイルやマスタードも開発した。



住民や地権者への説明会



「山川みかん」産地継続に向けた土地基盤整備

令和4年に山川地区土地改良区理事となり、事業の勉強会、地権者や耕作者への同意を得るための説明会など200回を超える会議を実施し、果樹では福岡県初の農地中間管理機構関連農地整備事業による区画整理が行われ、基盤整備面積は全国屈指の約60haとなり、新たな入植者を含めた中心経営体への利用集積、経営規模の拡大等を支援し、将来にわたる「山川みかん」の産地継続を図った。



地元食材の6次化商品



資源循環と女性活躍の場「ルフラン」

平成25年に市の環境審議会委員に就任した。生ごみをメタン発酵するバイオマスセンターで生成される液肥の農業への活用を進め、資源循環のまちづくりに寄与している。併設された食品加工室やカフェは交流拠点となり、同時に雇用創出の場となっている。ここでは起業を志す女性を市内外から受け入れ、5名が開業するなど施設を起点とした地域振興に繋がっている。



ルフラン

(参考)「農業女子アワード」を初開催

- 2023年2月14日に、今後の食・農・くらしの活性化に向けた女性農業者及び若者のビジネスアイデアや、年齢、性別などに関わらず個性を活かした農業経営を行っている家族・法人を表彰する「農業女子アワード2022」（主催：（株）マイファーム、後援：農林水産省）を開催。

【審査員（五十音順）】

加藤百合子氏／（株）エムスクエア・ラボ代表取締役
小安美和氏／（株）Will Lab代表取締役
塚原月子氏／（株）カレイディスト代表取締役社長
松本浩平氏／オイシックス・ラ・大地（株）取締役
元広菜穂子氏／（一社）全国農業協同組合中央会広報部長



「農業女子アワード2022」ファイナリスト

農業女子アワード2022
Webサイト



最優秀賞

ベストウーマン賞 (女性農業者)

辻 朋子氏
【兵庫県】



ベストグループ賞 (女性農業者グループ)

TUMMY（株）【東京都】



ベストユース賞 (小学生～25歳の若者)

伊藤 佑真氏
【京都府】



ベストファミリー賞 (家族経営体)

柴崎農園【群馬県】



ベストカンパニー賞 (法人経営体)

(株)ドロップ【茨城県】



「Last One Spoon ～若づるα化米粉～」

- 酒造好適米「山田錦」から製造したα化米粉を活用し、介護食・嚥下食を開発中。
- 地域の言語聴覚士（嚥下食調理技能者）、ユニバーサルカフェ経営者、就労継続支援事業所等と連携。

「共感・推し活・DAO。 農課題解決の新たな提案」

- 農家、料理人、デザイナー、マーケターなどがメンバーのDAOコミュニティ。
- 14人の作り手が愛をこめて作った農産物を届ける「愛食」カタログギフトを展開。

「農業オタク for Farm」

- 大学の仲間とともに、近隣農家の圃場に罾を設置して、鹿や猪のハンティングを実施。
- 希少なニホンミツバチの養蜂にチャレンジ。罾と同様に圃場に巣箱を設置し受粉昆虫としても活用。採蜜、瓶詰めまで自分たちの手で行い、「京太のはちみつ」として販売。

「はばたけ！柴崎農園」

- 年間20種類の野菜を作る小規模家族経営。野菜のおいしさを伝える市内初の農家レストランを2022年に開設。
- アンテナショップを開設し、地域の農家や飲食店の商品も販売。子育て世代を積極的に採用し、急な休みにも対応できる体制を整備。

「農業に新たな魅力を。 ～それぞれが主役になれる 『人的資本経営』～」

- 農業の関係人口を増やすため、スタッフそれぞれの経験や強みを活かしたイベントを開催するなどの「人的資本経営」を実践。
- 今後は、チームで走り続ける意識をさらに高めるために、持ち株制度の導入を検討。

(参考) 農山漁村における女性関連施策の体系 (関係部分抜粋)

食料・農業・農村基本法 (H11.7)

第二章 基本的施策

第三節 農業の持続的な発展に関する施策

(女性の参画の促進)

第三十四条 国は、男女が社会の対等な構成員としてあらゆる活動に参画する機会を確保することが重要であることに鑑み、女性の農業経営における役割を適正に評価するとともに、女性が自らの意思によって農業経営及びこれに関連する活動に参画する機会を確保するための環境整備を推進するものとする。

食料・農業・農村基本計画 (R7.4 閣議決定)

【第4 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策】

I 我が国の食料供給

2 食料自給力の確保

(2) サステナブルな農業構造への転換に向けた具体的取組

① (略)

② 規模拡大や事業の多角化を行うための経営基盤の強化

(前略) さらに、幅広い視野と能力を有し、地域をリードできる女性経営者の育成や女性活躍の理解促進を図るとともに、地域農業の方針策定への女性参画を一層促進するため、農業委員会・農協・土地改良区などの地域組織の意思決定層の意識啓発の強化を図る。

③ 持続的な農業経営の実現に向けた雇用労働力の確保・環境整備

(前略) また、農業が若者や女性にも選ばれる産業となり、農業法人の従業員としての定着や雇用の増大が図られるよう、就労条件、農作業安全等の雇用の確保に資する法人の環境整備を進める。(中略) さらに、女性の就農促進や継続的な雇用に向け、子育て等のライフステージにも合わせた、女性が働きやすい環境整備等を推進する。

V 農村の振興

1 多様な人材が農村に関わる機会の創出

(前略) また、関係省庁との連携の下、移住・定住の拡大にも資するよう、住居、交通、医療・福祉サービス等の生活インフラの確保や女性や若者などの暮らしやすさ・働きやすさの向上、地域おこし協力隊の農業への従事や、農村型地域運営組織(農村RMO:集落の機能を補完し、農用地保全活動や農業に関する経済活動と併せて生活支援を行う地域運営組織)への参画、特定地域づくり事業協同組合制度による農村RMOや農業等への人材派遣、中山間地域における地域資源やデジタル技術を活用した地域活性化、郵便局・物流事業者等と連携した市街地と農村間における食品・日用品、農産物等の物流網の維持・確保を推進する。(後略)

2 (略)

3 農村に人が住み続けるための条件整備(生活面)

(1) 農村型地域運営組織(農村RMO)の育成

(前略) 女性や若者などの多種多様な人材も巻き込みながら農村RMOの形成を推進する。

4 (略)

5 中山間地域等の振興

(1) 中山間地域等の農業を「支える」ための施策の推進

① (略)

② 集落機能の維持

(前略) 女性や若者などの多種多様な人材も巻き込みながら農村RMOの形成を推進する。特に中山間地域等の小規模集落向けに、農村RMOの立上げや活動充実の後押し、市町村・都道府県・関係府省庁と連携したサポート体制の構築を推進する。

③ (略)

農業協同組合法 (昭和22年法律第132号) 平成27年度改正

第二章 農業協同組合及び農業協同組合連合会

第六節 管理

第三十条 組合は、役員として理事及び幹事を置かなければならない。

13 農業協同組合は、その理事の年齢及び性別に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

農業委員会等に関する法律 (昭和26年法律第88号) 平成27年度改正

第二章 農業委員会

(委員の任命)

第八条 委員は、農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができる者のうちから、市町村長が、議会の同意を得て、任命する。

7 市町村長は、第1項の規定による委員の任命に当たっては、委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

土地改良法 (昭和24年法律第195号) 令和7年度改正

第二章 土地改良事業

第一節 土地改良区を行う土地改良事業

第二款 土地改良区の管理

(役員を選任等)

第十八条 土地改良区に、役員として、理事及び監事を置く。

6 土地改良区は、その理事の年齢及び性別に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

第6次男女共同参画基本計画 (R8.3 閣議決定)

第2部 政策編

Ⅱ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備・強化

【第9分野 地域における男女共同参画の状況に応じた取組の推進】

1 女性が活躍でき、暮らしやすい地域づくりのための男女共同参画の推進

(1) 施策の基本的方向

- 農林水産業の発展、農山漁村の魅力を増すためには、女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の農林水産業の方針決定過程に参画し、女性の声を反映させていくことが必要である。

(2) 具体的取組

イ 農林水産業における男女共同参画の推進

- ① 農業委員や農業協同組合、森林組合、漁業協同組合の役員及び土地改良区等の理事 について、年齢や性別に著しい偏りが生じないよう配慮しなければならないとの各根拠法における規定を踏まえ、女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組などを一層推進する。また、地方公共団体、農業団体の意思決定層等に対し、女性登用を進めるための意識啓発を図るとともに、具体的な目標の設定や女性の参画を促進する仕組みづくりを働きかける。
- ② 幅広い視野と能力を有し、地域をリードできる女性農業経営者を育成するため、経営力や組織の管理能力等の修得に向けた研修を実施するとともに、地域レベルや都道府県域を超えた女性グループの形成やその取組を支援する。
- ③ 全国の市町村において策定された、地域の協議に基づき、地域農業の将来の在り方や農地利用を明確化する「地域計画」の協議の場において、女性農業者を始めとする地域の関係者の積極的な参画を推進する。
- ④ 女性の林業経営への参画等により、地域全体における林業を活性化するため、経営者や従事者に対する研修やセミナー等を行うとともに、森林・林業に関心のある女性に対して、女性林業グループの取組の発信を行う。
- ⑤ 水産業における女性の参画を推進するとともに、水産業経営の改善を図るため、起業的取組を行う女性グループの取組、女性の経営能力の向上や女性が中心となって取り組む加工品の開発、販売等の実践的な取組を支援し、優良な取組の全国各地への普及を図る。
- ⑥ 認定農業者制度における農業経営改善計画申請の際に夫婦などによる共同申請を通じて、女性の農業経営への参画を推進する。
- ⑦ 「農業女子プロジェクト」や「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」において、企業や教育機関との連携強化、地域活動の推進により女性農林水産業者が活動しやすい環境を作るとともに、メンバーの多様な経験・知見を生かした人材育成の強化に取り組む。
- ⑧ 家族経営協定を締結した女性農業者や女性が役員の過半を占める農業法人等に対する融資の活用を促進する。
- ⑨ 農業や家事の分担・負担度合いを見直すワークシートの活用やそれを踏まえた家族経営協定の締結により家族間での役割分担や就業条件の明確化を推進する。
- ⑩ 女性グループが行う漁業生産活動に対する融資の活用を推進することにより、女性が行う水産業に関連する経営や起業等を支援する。
- ⑪ 女性の就農希望者等に対し、就農相談会、農業法人による会社説明会、就農促進PR活動、農業者による高校や大学等教育機関への出前授業等を通じて、農業への理解を促進する。また、就農に当たっては、家族経営協定を締結した夫婦等での共同申請を含め、認定新規就農者制度の活用を推進する。
- ⑫ 女性農業者の農業者年金への加入を促進する。
- ⑬ 女性の就農促進や継続的な雇用に向け、女性活躍推進法等に基づく一般事業主行動計画の策定等を通じて、子育て等のライフステージにも合わせた、女性が働きやすい環境整備等をソフト・ハード両面から推進する。
- ⑭ 農山漁村が女性・若者に選ばれるための受入拠点の整備等を促進するため、「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォームにおいて、農林水産業と他分野の企業との連携を図り、現場での案件形成を促進していくとともに、優良事例を発信し、普遍化を図る。
- ⑮ 性別役割分担意識等によるジェンダー・ギャップ解消に向けた啓発及び経営で手腕を発揮するロールモデルの提示や女性登用・支援の一層の推進のための表彰等を通じ、女性が農業分野で活躍できる環境づくりを促進する。
- ⑯ 農作業の自動化等を通じて身体の負担軽減や作業時間の短縮に資するスマート農業技術により、女性や高齢者などでも活躍しやすい農業を実現するため、多様なプレーヤーが参画したスマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA) において、生産と開発の連携、情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成等を行い、スマート農業技術の開発と普及の好循環の形成を推進する。

女性活躍・男女共同参画の重点方針2026 (抄) (令和8年6月25日すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部決定)

Ⅲ 女性が活躍でき、暮らしやすい地域づくり

2. 強い地域経済の構築の基盤となる女性人材の育成と就業機会の創出

- ・女性農業者が抱える多様な課題やニーズを踏まえ、農業分野における固定的な性別役割分担意識等を明らかにし、女性の参画・登用に向けた具体的な行動に繋げるためのジェンダーギャップの解消に向けた取組を進める。
全国及び都道府県レベルでの女性農業者向け研修を実施し、地域リーダーとなる女性農業経営者を育成する。
「農業女子プロジェクト」や女性グループ活動の支援、表彰を通じてロールモデルを提示する。
女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定や農業現場における男女別トイレや託児スペース等の働きやすい環境整備を推進する。
- ・農林水産団体等の理事等に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組等を一層推進すべく、地方公共団体・団体への個別の働き掛けとともに、地域農業を率いる意思決定層を対象とした「農業リーダーズサミット」の開催等を通じて意識改革を進める。
- ・林業において、女性が活躍できる就業環境整備に向けた雇用主向け研修の支援、女性活躍に意欲的な女性林業従事者等を対象としたリーダー育成セミナーへの支援、表彰を通じたロールモデルの提示等を進めるとともに、水産業において、「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」や漁村女性向けの研修や漁村女性グループ活動への支援、表彰を通じたロールモデルの提示等を進める。

(参考) 女性活躍に向けた事例集、マニュアル等

これまでに女性活躍予算において作成した、女性活躍を推進する農業関係団体や地方自治体のほか、家族経営や法人経営の方に向けた事例集、マニュアル等を紹介しています。

家族 法人 団体 グループ

性別に基づく一方的な思い込み ～地域における役割・分担の 再点検～ (R6年度)

農業組織や地域における女性の参画・登用の障壁ともなる、性別に基づく一方的な思い込みや固定的な性別役割分担意識について、その影響を知り、解消を目指す。



(株)マイファーム

家族 法人 団体

トップが導く女性活躍 ～JAみなみ筑後の事例から～ (R6年度)

女性の登用を組織一丸となって進めている福岡県JAみなみ筑後の取組を、取組開始当時と現在の組合長をはじめとする関係者の方へのインタビューを通じて紹介。



(株)マイファーム

家族 法人 団体

女性が活躍中！地域農業の 未来をつくる農業委員の1日 (R5年度)

女性農業委員のとある1日を密着取材し、地域での活動の様子や想い、パートナーや周りの農業委員の声などを紹介。



(株)マイファーム

家族 法人 団体

女性農業経営者3名に聞いた、 “わたしのターニングポイント” 一歩踏み出すわたしの 農業経営のヒント(R5年度)

経営に参画し、地域で活躍する女性農業者に、就農や経営発展のきっかけ、女性活躍に必要なと思うこと等を座談会形式で紹介。



(株)マイファーム

法人 団体 グループ

みんなが働きやすい環境 整備・女性グループ の活動支援(R7年度)

女性が働きやすい環境整備に向けた男女別トイレ、更衣室等の確保、女性農業者グループの活動事例を紹介。

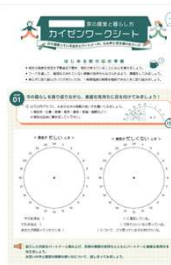


(株)マイファーム

家族

家族経営を よりよくしたい人のための 農業と暮らし方カイゼン ワークシート (R5年度)

主に夫婦間の分担状況を見る化し、その時々状況に合ったよりよい分担に見直すためのワークシート。



(株)マイファーム

家族 法人 団体

経営力アップデート 研修(R4年度)

女性活躍の理解促進に向けて、女性が経営に参画することで、経営に良い効果が見られた事例について動画で紹介。



(株)マイファーム

団体

子育て農業地域ネット ワーク実践マニュアル (R3年度)

女性農業者向けの子育て・農作業サポート体制を構築した事例を紹介。



(株)パソナ農援隊

法人 団体

これからの農業経営の ためのハンドブック ～女性とはたらく～ (R3年度)

女性が働きやすい環境整備に向けた、シフト制やフレックス制の導入、女性の成長支援等の事例を紹介。



(株)マイファーム